

摩耶山

春だ！山へ、湖へ

摩耶山に春の訪れを告げる「摩耶詣祭」が3月26日、摩耶山天上寺などで開かれる。地域の人々と飼馬の厄よけを祈願する行事。パレードには六甲山牧場の木曾馬も参加する。



華やかに飾った馬と共に練り歩くパレード

摩耶詣祭は午前10時半、掬星台で幕開け。同11時には飾り馬のパレードが、天上寺に向けて出発する。同11時半には同寺で、春山開き宣言と安全祈願が行われ、馬への花かんざしの授与や摩耶昆布の配布もある。

正午からは山上で最大の湖・穂高湖で「摩耶山春湖開き～穂高湖でUFO体験」も実施。円形SUP(スタンドアップパドルボード)やカヌー体験、焼きマシュマロ作り、

コーヒーの野点などのイベントがある。

当日は、まやビューラインの同伴の小学生運賃が無料。掬星台から穂高湖まで無料のシャトルタクシーも運行する(午前11時～午後3時、約20分間隔)。

摩耶山観光文化協会 ☎078・861・2684(摩耶詣祭、天上寺)・☎078・882・3580(春湖開き、monte702内)

六甲高山植物園

足元からの春を見つけに

春は足元から。ファッション誌などでよく見かけるフリーズだが、六甲の山々で春の始まりを知らせてくれるのも、足元の小さな草花たち。六甲高山植物園では27日と3月6日に冬季特別開園、同12～16日と18日にプレオープンを行う。



浅春の頃、真っ先にほころびだす。寒さに負けず、かなかな花を咲かせるハイカオウレン

すのがハイカオウレン。高さ3～10センチの草が地面を這うように広がり、直径1.5センチほどの小さな花を咲かせる。ほかにもフクジュソウやセツブンソウなど、春の花は小さいものばかり。油断すると見逃してしまいそうだ。

しかし、小さな体でまだ冷たい土を力強く持ち上げ、目いっぱい背伸びをして花弁を開く。その姿は冬を越え、春が来た喜びに満ちあふれていて、見る人にも元気を与えてくれる。

小さいけれど、足元から確実にやってきている春を見つけに、植物園へ出掛けてみませんか。六甲高山植物園 ☎078・891・1247



六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第4火曜日に掲載します)

山麓の観梅ハイキングはいかが？

根岸真理が案内 山の四季便り



古くから梅の名所として名高い岡本公園

「梅は岡本 桜は吉野 蜜柑紀国 栗丹波」といわれた梅の名所岡本。古くは羽柴秀吉が訪れたという記録もある。江戸時代の観光ガイドブック「撰津名所図会」で紹介されると、「一躍有名になった」といって、文人墨客も多く訪れるようになったという。六甲山麓の広大な斜面に2万本の梅が植えられ、花の季節には大変なぎわいを見せたそう。1874(明治7)年に鉄道(現在のJR)が敷設されると、遠方からも見物客が押し寄せるようになった。明治30年頃には、観梅期には臨時停車場が設けられるほどの人気を博したという。しかし、1938(昭和13)年の阪神大水害、45年の神戸大空襲によ



例年なら今頃は、もう少しいっぱい咲いている(2020年2月20日、岡本公園で撮影)



保久良神社に咲く梅。見頃はこれから



保久良神社の社務所裏にある神生岩

つて大きな被害を受け、さらに戦後は宅地化が進んだために、往時の面影はすっかり失われた。82年、神戸市と地元有志らが梅林の復活を計画。高台の住宅地の中に土地を取得し、「岡本梅林公園」として整備。小規模ながら、色とりどりの梅が楽しめる新名所として親しまれている。1月頃に咲き始める早咲き品種から、桜の頃に咲く遅咲きのものまで、42種類の梅が植えられ、長い期間楽しめるのが特徴。最寄りの阪急岡本駅からは北西へ徒歩約10分。園内はスロープ園路も設けられており、車いすやベビーカーでも散策できる。今年にはコロナの影響で、昨年に引き続き「撰津岡本梅まつり」は中止と

なつたがその分、静かに梅を眺められるかもしれない。2月16日に訪れたところ、八重寒梅や道知辺、緋の司などが、数種の梅が咲いていた。例年よりやや遅い感じがするのだから、これから本格的な見頃を迎えるだろう。この公園の少し東側には岡本八幡神社があり、その境内や、脇を流れる天上川沿いにも梅の木が点在。八幡神社東側の児童公園から続く舗装道を15分ほど、標高差にして約100メートル登ったところには、保久良神社・梅林がある。こちらは、南向きの斜面に約250本の梅が植えられて、海を見下ろす眺望も併せて楽しめる。古代から信仰されてきた「磐座」や、沖合に行く船を導いた「灘のひとつ火」と呼ばれる石灯籠がある歴史スポットでもある。こちらも16日現在2種ほどが開花していた。保久良神社へは舗装道経由の2コースあり、タウンスユーズでも登ることが可能。二つの梅林を訪ねる山麓フチハイキングはいかが？

六甲アウトドアステーション フォトン

人が自然に還る場所

六甲ケーブル山上駅から徒歩5分のゲストハウス「六甲アウトドアステーション フォトン」。「人が自然に還る場所」をテーマにカフェやバー、BBQテラスを備え、最大18人を収容できる。



隠れた雰囲気の中でくつろげるリビングルーム

パラグライダーやスキューバダイビングなどアウトドアを極めたオーナーが設立。自然の中でさまざまな人が行き交い、心身をリフレッシュして次の目標に向かえる場所を目指す。

六甲山トレッキングのベースやワーケーションの山上オフィス、ハンモックでの昼寝、家族とのアウトドア体験、仲間との泊まりがけパーティーなど、小さな施設だ

けに使い方は自由自在。できる限りリクエストに応じてくれる。

昨年9月にプレオープンしており、今春から本格稼働。主催のトレッキングツアーやヨガイベント、SUPやヨット、パラグライダー体験なども予定している。フォトン ☎078・891・0488

◆ロープで木登り！ ツリーイング体験 3月19日10時半～12時、13時～14時半、県立甲山森林公園管理事務所前集合(阪神「西宮」駅から阪神バス鷲林寺循環線「県立甲山森林公園前」)。樹木医が安全に樹上作業するために、ロープを使って木登りをする「ツリーイング」=写真=を体験する。講師は寺本尚輝さん。レインコート、飲み物、軍手など持参。3500円(保険、ギ

アレンタル、指導料込み)。対象は小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)。定員各回5人。電話で申し込む。荒天中止。同公園管理事務所 ☎0798・73・4600



◆岡本(ほくら〜ととや)桜回廊づくりプロジェクト 第7回岡本桜回廊を巡るお花見ハイイク 4月2日9時～14時半(予備日3日)、JR「甲南山手」駅北側広場集合。市街地に近い六甲山地の斜面にヤマザクラの植樹・育樹を行う「六甲山系グリーンベルト整備事業」の一つ。過去7回に植樹したヤマザクラ400本の状況確認と所属団体の活動地見学を兼ねたお花見ハイキング、登山道での自然観察などを行う。昼食、飲み物、軍手持参。無料。対象は自然が好きな小学生以上(小・中学生は保護者同伴)。先着100人。①魚屋道尾根コース、②葉大尾根コースのどちらかを明

記し、3月18日までにメールで申し込む。「ほくら〜ととや森の世話人倶楽部」事務局の高田さん(seiichiro.takata@gmail.com) ◆カエルの学校 冬の池そうじ、カエルの卵を救え！ 3月21日10時半～12時半、神戸市立森林植物園(神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス)。池の枯葉の中からアカガエルやヒキガエルの卵を救出す=写真。講師は清水薫さん。長靴、着替え、あみなど持参。無料(別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円)。先着20



人(親子あわせて)。電話で申し込む。同園 ☎078・591・0253

◆演奏家のいないウィンドコンサート 3月13日まで、11、13、15時(各回約30分間)、ROKKO森の音ミュージアム(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「ミュージアム前」)。クラシックやアニメなどさまざまなジャンルから、冬にぴったりな曲を大型のオルガンやオルゴールが自動演奏する。こたつ席(8席限定、先着順)もある。無料(別途入場料1300円、4歳～小学生600円)。原則木曜休み。同ミュージアム ☎078・891・1284

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/



六甲山大学・情報凝縮サイト 653daigaku.com



わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています

協賛企業



想いをかたちに 未来へつなぐ

順不同